

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 きららSTEM西冠

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別で対応している為、集中しやすいスペースと遊べるスペースをわけ環境調整をしている	
	2	職員の配置数は適切である	○		児童指導員2名保育士2名言語聴覚士1名	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	△		裏口からの案内にはなるが配慮することができる	トイレや室内は配慮しているが建物の構造上が玄関に階段がありバリアフリー化にはできていない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者による回答も多く感謝している意見を参考にし改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		△		第三者委員会など本格的ではないが支援員や他事業所の方に助言等をもらい改善につなげている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎週木曜日は研修日と決めて取り組んでいる。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		参考資料として活用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者の様子にあわせながらカリキュラム通りではなく柔軟に対応している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は小集団活動やイベントなどを取り入れコミュニケーションスキルの向上を目標にしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動がメインになるが同じ時間帯の利用者と過ごせる機会を設けている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日打合せを行い利用者の情報共有を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日ふりかえりを行い改善策や療育内容などの共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		利用者の状況を把握したものが参加している		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			共有してもらえる学校とは共有を行っている。保護者や保育所等訪問支援からの情報共有が多い。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		保護者の指導を受け対応をしている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		△		保護者からの情報を参考にしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		対象児童がいらないが移行する際は情報共有を行う	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			機会があれば研修を進んで受けるようにしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	△			参加できる研修があれば積極的に参加するようにしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			お迎え時に情報共有を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者へのアドバイスは必要で気軽に相談できる機会を検討している	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時や利用者負担額が変更になった時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			常にできているわけではない。どの職員も助言が出来るようにスキルの向上が必要	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			場の提供をしている。	令和6年度からは毎月気軽に立ち寄れる機会を設定予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に対応をしている。	職員の認知力向上は必要と感じている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			通信を発行。ホームページでも様子や作品を公開している	
	35	個人情報に十分注意している	△				十分に注意をしているが書類の渡し間違いもあり改善に取り組んでいる
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡帳などで文字では伝わりにくい場合などは電話や来所をしてもらい情報共有を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		△		招待をする活動は行えていないが地域の方も使用する通路のゴミ拾いや、下校児童がトイレを借りにくれる。地域の方が使用しなくなった本など提供してくれる等、関わりやすい環境作りをする努力はしている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルや研修等を行っているが保護者発信は弱く周知してもらえていない為改善策を検討している。携帯などで確認できる方が便利なようであれば環境整えていく予定をしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のメンバーが定期的に集まり事業所での研修内容やヒヤリハットの共有を行い防止に務めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず行う状況がある場面を保護者に伝え了解をえて個別支援計画に記載をしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事やおやつを提供していないがイベントで飲食をする場合は保護者に確認をとっている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		